

概要 : [HTML5]Canvas を用いたサイト



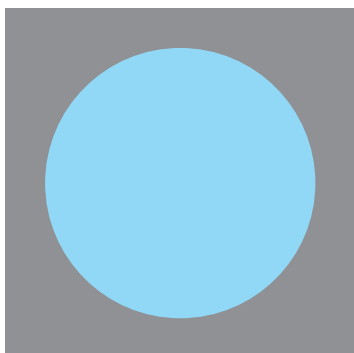
Canvas 1

閲覧者のローカルファイルにある画像をアップロードして、大きさや位置などを編集する。(サーバーには保存しない)

参考 URL

<https://kuroeveryday.blogspot.com/2017/09/zoom-in-out-and-drag-to-move-on-canvas.html>

(参考 URL では画像 URL を入力するようになっているが、ローカルファイルの画像を読み込むようにする。)



Canvas 2

透明部分のある png の画像を読み込む。

例では水色の部分が透明になっている。



Canvas 3

テキスト部分は閲覧者が自由に変更できるようにする。

参考 URL https://blog.ver001.com/javascript_canvas_filltext/

(参考 URL ではテキストを打ち直すと前の文字と重なってしまうが、打ち直したら前の文字は消えるようにする。)



サイト上では Canvas1 ～ 3 が重なって左図のように見えるようにする。

最終的に Canvas1 ～ 3 を統合し、1 枚の画像として閲覧者がダウンロードできるようにする。